

系列別課題研究発表会

本日(12月17日)は、午後の授業で標記の発表会が行われました。全校生徒がそれぞれの系列に分かれて3年生がこれまで研究してきたことの発表を行うものです。「課題研究」で取り組んだ内容と成果を論理的にまとめて発表し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図ること。系列学習の成果を1・2年生に具体的に示すことで、1・2年生にとっても今後の学習意欲の向上につなげ、学習目的の明確化を図ることなどを主な目的として行われました。

発表者は、提示資料は内容を理解しやすい構成にしたり、原稿を棒読みしないように準備したり、実演や実物展示など、発表方法を効果的に演出するなど、「伝える」ことを意識した発表方法の工夫をして発表に望みました。

さらに、聴衆者として参加した1・2年生は、自分の3年次での発表場面を想像しながら聞くことや、発表に対する評価・感想記入を行うなど「聴く」ことを意識し、聴衆者としてのマナーも持ち合わせながら参加しました。

各系列の発表テーマの一部です。

【農業】 8発表

- ・タピオカうどんの開発
- ・生姜を利用した加工品の製造
- ・光反射を利用した一考察(高品質シクラメンの出荷を目指して)

【ビジネス】 5発表

- ・仁摩町の観光客を増やそう! ~目標2万人増!~
- ・大田市で非日常観光を ~山吹城跡から馬路鞆ケ浦へ~
- ・大田のアナゴをPR ~商品開発 道の駅販売を目指して~

【福祉】 10発表

- ・いい印象を人に与える方法
- ・エステや整体は人にどのような影響を与えるか
- ・認知症を予防しよう
- ・高齢者が食べやすい食事

【生活】 23発表

- ・パネルシアターを通して正しい生活習慣を知ってもらおう
- ・年齢に応じた発達を促すおもちゃを作る
- ・オリジナルドレス
- ・紙を使わず刺繍だけでどれほど派手にできるのか
- ・服の色が集中力にどう影響するか
- ・カルシウムの大切さを知ろう
- ・食物アレルギーの方に楽しい食事を

【文化】 2発表

- ・効率のいいトレーニング
- ・足のにおいについて

研究は個人での研究あり、グループでの研究ありとそれぞれテーマを決定し、仮説を立て、計画し、研究・調査などの実践を通して出た結果をまとめ、考察して新たな課題を発見し、次につなげるというやり方で多くの研究が取り組まれていました。今日の発表会で、1月17日に実施予定の邇摩高校学習成果発表会で発表する代表が決まります。

研究には失敗がつきもので、うまくいかないことも多々あります。その失敗をどのように改善しながらいいものを創り上げていったかといったことも大事で、ねばり強く、継続して行くことも研究を進めて行くには必要です。発明王のエジソンは、一つの発明をしたときに、記者から「500回失敗したそうですね!」と聞かれたとき、「失敗ではない。うまくいかない方法を500通り見つけた」といったそうです。

